

江南村 広報

発行所
江南村役場

今月の納税
固定資産税
第2期
保険税
第2期

国民安全の日
誕生
7月1日
生活のすべてに
安全を

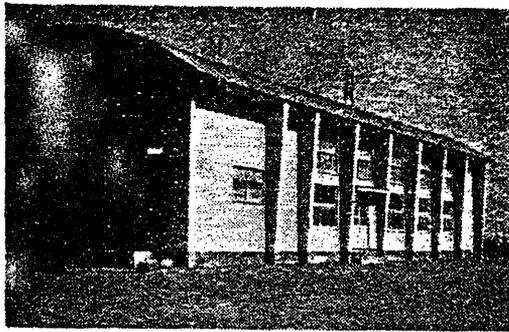
村
つ
く
り

村長 馬場

栄

個人としての私は、今地位も、名譽も、欲望も考えていないが、長として、村を安住楽土の環境として、村民の皆さんが幸福で明るい暮しが、出来まよう、寸時も忘れることなく、これが実現に日々精進と努力とを続

[写真 は 村民 集会所]



村発展の方向 T S 生

江南村の発展はどこからどのようにして来るだろうか？村内八千人の皆さんがおそらく同じようにこのことを考えそして内

心こうもしたらと云うように希望されていることだろーと思ひます。しかし村発展の方向即ちどのようにして行つたら望む

必要なる調査をして基本計画を樹てこれによつて、産業商工業道路交通運輸及び通信、教育文化厚生、行政運営等に関する向う五ヶ年間の実施計画を樹立し、村議会の議決を経て、実施に移す。

の一人性を図るために其の第一着手として住民集会所を建設したのであります。さて完工いたしました見ますと、其の利用度の多いのに今更ながら驚くほどであります。

昭和三十四年全国農業会議所の答申により農林省は農家台帳を農業委員会に整備し、それれ市町村の農業振興事業の基礎資料とするため国の補助事業として必要経費二分の一補助により全国の農業委員会は昭和三十四年度と昭和三十五年度の二ヶ年にわたつて全部の農家台帳を整備することを期して、つき農家台帳をつくり

すべの万々から今度の農家台帳整備事業の重要性を認識していただき、眞剣なる御協力を得ること、是非必要であります。特に直接台帳作製のため、の調査に當つていただく農家委員及び調査員の方々は農家台帳耕作面積一反歩以上の全農家について作製することに、なつておりますが、ただし特殊の経営で一反歩未満の農家もあろうと思ひますので、こうして農家台帳をつくることを望んでおられます。尚調査項目は土地家産機具家畜などに

御協力を願ひたいし、

つて、江南村新村建設審議会を設置いたしました。以上のように発展すること、が、合併いたしまして、江南村が誕生いたしました。設計画の指定村となり、したので、法の規定によ

完成して操業を開始し更に機械工業が敷地買収を終り建築に着手される段取りとなり、又熊谷自動車学校も小川県道沿いに敷地の買収が略々完了するに至りました。このように現在のところは工場その他米村の発展の基となることは会社側からの申出によつて先方で選定した所を協議して地主の賛成を得て売渡しを斡旋し招致に努めていくわけであり、従つて村の費用はかかるまいやうな方法で招致して居りますので、皆さん方も耳にして居られ、ましようが本村は広大な山林を有するので何年かの間に沢山の工場が出来るだろうと誰彼の別なく云われて居りますし、又望んで居る人も少なくありません。その端々に云えは工場地帯とそれに附随して設けられる住宅団地化が予想されます。翻つて純農村である立場から農業中心の発展策も忘却してはならない重要な事です。したがつて農業生産力を増強して村民の経

濟的発展方策を樹てるとも急務であり、ましよう。そこを本村としては広大な山林地帯の有効な利用を図ると共に、広大な耕地を如何に利用して最高度の生産を擧げて行くかの二大理想が必要をわけて、討論産業の充実と共に教育文化の面についても、発展策を忘れては居りません。が、前述の二つの発展策は車の両輪と同じに併せ進めなくてはならぬわけであり、ましよう。また、又村の施策の中、重要項目として採り上げて居るべきであります。この必要なる事項は、お互に目前のことのみ捉われず、村百年の大計の前に協力し、話し合つて努力して進めなければ、所期の目的を果すことは、むづかしいこととなり、ましよう。

以上申述べたやうにその方向は決めたやうに思ひますが、すでに開発委員会活動して居りますので、是非共委員会に協力をいたして、一歩一歩着実に進むことを望んで止みません。

昭和三十四年度、三十五年度、三十六年度の三年度にわたつて全部の農家台帳を整備することを期して、つき農家台帳をつくり、ましよう。その二年度として、三十四年度に引続き、三十五年年度において、江南村も農家台帳の整備を行うわけであり、ましよう。埼玉県では、昨年度約半数の農業委員会が整備されて、現在すでに有効に使用されて、ましよう。本年は昨年度対象

問わず農業に関係をもつ

て、江南村新村建設審議会を設置いたしました。以上のように発展すること、が、合併いたしまして、江南村が誕生いたしました。設計画の指定村となり、したので、法の規定によ

完成して操業を開始し更に機械工業が敷地買収を終り建築に着手される段取りとなり、又熊谷自動車学校も小川県道沿いに敷地の買収が略々完了するに至りました。このように現在のところは工場その他米村の発展の基となることは会社側からの申出によつて先方で選定した所を協議して地主の賛成を得て売渡しを斡旋し招致に努めていくわけであり、従つて村の費用はかかるまいやうな方法で招致して居りますので、皆さん方も耳にして居られ、ましようが本村は広大な山林を有するので何年かの間に沢山の工場が出来るだろうと誰彼の別なく云われて居りますし、又望んで居る人も少なくありません。その端々に云えは工場地帯とそれに附随して設けられる住宅団地化が予想されます。翻つて純農村である立場から農業中心の発展策も忘却してはならない重要な事です。したがつて農業生産力を増強して村民の経

濟的発展方策を樹てるとも急務であり、ましよう。そこを本村としては広大な山林地帯の有効な利用を図ると共に、広大な耕地を如何に利用して最高度の生産を擧げて行くかの二大理想が必要をわけて、討論産業の充実と共に教育文化の面についても、発展策を忘れては居りません。が、前述の二つの発展策は車の両輪と同じに併せ進めなくてはならぬわけであり、ましよう。また、又村の施策の中、重要項目として採り上げて居るべきであります。この必要なる事項は、お互に目前のことのみ捉われず、村百年の大計の前に協力し、話し合つて努力して進めなければ、所期の目的を果すことは、むづかしいこととなり、ましよう。

以上申述べたやうにその方向は決めたやうに思ひますが、すでに開発委員会活動して居りますので、是非共委員会に協力をいたして、一歩一歩着実に進むことを望んで止みません。

昭和三十四年度、三十五年度、三十六年度の三年度にわたつて全部の農家台帳を整備することを期して、つき農家台帳をつくり、ましよう。その二年度として、三十四年度に引続き、三十五年年度において、江南村も農家台帳の整備を行うわけであり、ましよう。埼玉県では、昨年度約半数の農業委員会が整備されて、現在すでに有効に使用されて、ましよう。本年は昨年度対象

問わず農業に関係をもつ

のび行く江南村 ①

各家々の家計、簿、広くは各、村、県、国の、家計簿、即ち経、済白書は、それ、そのの経営規、模及び運用方、針により異つ、針に参り、本村における、内容は各位の、絶やまざる御、協力により年、年向上致して、居ります。今、回、広報活動、の機会を得、して村民各位、に周知願ひ、今後一段の飛、躍を期したく、下記の通り概、要につきお知、らせたいし、ま、す。次回国保、特別会計。

才	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度予算
① 村	11,211	12,710	13,244	13,913	12,070
② 地方交付税	6,877	7,663	10,533	12,937	9,998
③ 使用料手数料	163	143	198	188	158
④ 国庫支出金	939	905	485	1,704	6,144
⑤ 県支	353	441	316	718	488
⑥ 繰越金	1,925	1,496	1,453	1,562	2,786
⑦ その他	97	606	150	34	15,238
⑧ 雑収	385	187	342	421	154
合計	21,950	24,151	26,721	31,477	47,006

才	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度予算
① 議会費	690	473	589	746	1,013
② 役場費	6,890	6,439	6,267	7,412	11,679
③ 警察消防費	1,780	3,538	1,002	809	1,162
④ 土木費	2,009	1,832	1,930	1,234	1,280
⑤ 教育費	4,369	4,590	4,585	6,655	23,735
⑥ 保健衛生費	621	454	597	1,024	1,265
⑦ 産業経済費	1,311	1,518	1,481	4,011	3,710
⑧ その他	1,289	1,354	5,207	1,773	3,162
合計	18,959	20,198	21,658	23,664	47,006

農家台帳の整備についておしらせ

昭和三十四年度、三十五年度、三十六年度の三年度にわたつて全部の農家台帳を整備することを期して、つき農家台帳をつくり、ましよう。その二年度として、三十四年度に引続き、三十五年年度において、江南村も農家台帳の整備を行うわけであり、ましよう。埼玉県では、昨年度約半数の農業委員会が整備されて、現在すでに有効に使用されて、ましよう。本年は昨年度対象

